



～ 山口東京理科大学と包括的連携協定を締結 ～

山陽小野田市は山口東京理科大学と連携し まちづくりを推進していきます

▲ 2004年8月5日、高泊公民館で開催された「夏休み科学教室」。写真左は山口東京理科大学の白木講師。児童は本格的な器材を使って、光の強さなどについて学びました。

今回の協定は、市と大学との教育・研究に関する人的・知的資源の円滑な交流推進を目的として行われました。具体的な取り組みに関しては、これから設立される連携協議会において話し合われることになっていますが、今のところ、以下のような事業が計画されています。

- 小・中学校の特別科学体験事業
- 市民への生涯学習（情報教育）支援事業
- インターンシップ（学生の職場体験）支援事業
- 文化講演等各種講座交流事業
- 図書館機能の共有化推進事業
- スポーツ分野の交流事業 など

【問い合わせ先】企画広報課 ☎ 82-1130

本物の科学の面白さを子どもたちに伝えたい

山口東京理科大学 学長 土谷敏雄



本学は山陽小野田市をはじめとする地元の方々の強い熱意と多大なご協力のもとに開学し、これまでも生涯学習事業を中心に緊密な協力関係を築いてきました。子どもたちの理科離れを食い止め、サイエンスの夢と希望を与え続けていくことが、本学に課せられた大きな使命の一つであると考え、理工系大学の特色を活かした青少年に対する科学教育には力を入れてきたところです。

今回の協定を踏まえ、本学では、さらに小・中学生のみなさんに科学の面白さを体験してもらうため、楽しい実験や講義などを交えた取り組みを推進していきたいと考えています。また一般市民のみなさんにも文化講演会、スポーツ交流、英語やパソコンの講座など、生涯学習事業を通じ交流を深めていきたいと思っています。

この協定を通じ、市民のみなさんが本学に一層の親しみを感じ、身近に感じていただけるのではないかと期待しています。